

【支配人 山下コメント】

はじめまして。株式会社テニスラウンジ、支配人の山下と申します。弊社は愛知県を中心に北は北海道から、南は沖縄県まで全国 43 校のテニススクール運営を行っている会社になります。今年の 6 月には岐阜の長良にもオープンを予定しております。その中の、三河地区であります、豊田市、額田郡幸田町、豊橋市にあるテニススクールを管理させて頂いております。

弊社は今年で会社設立 30 年の節目の年を迎えます。弊社は、名古屋市内のビルの屋上でテニススクールから始まり、ペンキでテニスコートを自作したスクール、倉庫を再利用してのインドアテニス、テント式のインドアテニス、冷房完備のテニススクールへと、時代の変化と共に、30 年の間に施設面は大きく変化致しました。

しかし、オープン当初から一貫して取り組んでいるコンセプトとして「単にテニスを教える場所ではなく、テニスを通じて元気や笑顔を提供する場所を作っていこう」という社長の精神のもとに 30 年間続いています。まだ 100%達成できているものではありませんが、100%に近づけるように、日々努力しております。

悲しいことや辛いことがあったときには、テニスラウンジに来て元気になる。うれしいことや楽しいことがあったときには、より楽しくなる。そんな場所を作ること、地域社会に貢献できたらと考えております。

また、社会貢献の一環として愛知県教育委員会後援の下、毎年 9 月 23 日を「テニスの日」と題して、小学生を中心に施設を利用したテニス教室を行い、毎年沢山の方々にご参加頂いています。昨年度は弊社全体だけでも約 3000 名の小学生の子供達が参加してくれました。お陰様で会員数も年々増加し、2017 年度は全校で 2 万人の会員数を誇る、全国屈指のテニススクールに成長して参りました。

弊社の運営の支えになっているのが、近年増加している「子供」の生徒さんになります。50 年前ですと、“テニス”と言えば「高嶺の花」で皇室のスポーツというイメージが強い時代で敷居の高いスポーツでした。弊社が設立した 30 年前になりますと、庶民のスポーツとしてテニススクールで「習い事」として始まり出した時代でした。ですがまだまだ、一般にはあまり浸透していない習い事でした。

しかし、現代においてはテニススクールというビジネスが日本全国至る所に出来、より身近な習い事として一般の方にも浸透して参りました。更に、近年では錦織圭選手の世界的な活躍もあり、子供が憧れるスポーツ選手の第 1 位となるなど、野球やサッカーと同じ位国民的スポーツとして認知されるまでになって来ました。

弊社の会員数の約半分 1 万人弱が小学生の子供達であり、毎日一生懸命ボールを追っています。

弊社のスクールに通っている子供達は決して特別な子供達ではありません。いわゆる「普通な子供達」です。将来プロを目指したり、プロに仕立てるための特別な指導もしていません。錦織選手を見てテニスをやってみたくなった、友達がスクールに通っているから、運動不足だからなどの理由でスクールに通い始めた子供達ばかりで、普通に学校に通い、塾に通い、レッスン前後にはゲーム機で遊んだりする様な子供達もいるいわゆる普通な子供達です。何処にでもいるこの様な普通の子供達が、年に 1 回熱くなる時が「3 校対抗戦」になります。

この「3 校対抗戦」と言うのは、私が管轄する三河地区の 3 校（豊田校・幸田校・豊橋校）の代表者 9 名で行う団体戦になり、今年で 4 回目を迎えます。

3校対抗戦の一番の見所は、普通の子供達が年に1回、1年間の練習の成果を出す場所になるということです。自分の実力を「出すことが出来る子」「出来ない子」、「勝って喜ぶ子」「負けて泣く子」、日常何処にでもいるような子供達の一所懸命に頑張る姿を、クローズアップして頂けると見ている人たちは、きっと身近に感じて頂けるのではないのでしょうか。その場面はちょっと楽しかったり、悲しかったり、感動したりと、様々な場面があります。我々スタッフも試合に負けて悔しくて泣いている子供達をみると、思わずもらい泣きしてしまうような場面も多々あります。

テニスというスポーツは、本来かなり孤独なスポーツです。

プロの世界ですと団体戦なんてほとんど無く主要な大会は全て個人戦、試合に負ければそれで終わり、試合中はコーチや監督からのアドバイスは一切受けてはダメ、ラリー中は応援禁止など、かなり孤独感が強いスポーツです。

そんなスポーツであるテニスを、この「3校対抗戦」では、テニスラウンジ独自のオリジナルルールを取り入れて行っています。例えば、ポイントの総得失点による勝敗の決着。例えば4勝5敗で負け越したとしても、総得失点が相手チームより上回ることができれば、勝てるルールになります。また、試合中にコーチのアドバイスが受けられる「ちょっと待った！システム」を取り入れたりもしています。

こんな独自のルールを取り入れたのも、弊社のコンセプトにもあります「テニスを通じて元気や笑顔を提供する」ところからになります。

3校の精鋭が集う当日の試合の雰囲気も年々パワーアップし、親御様や会員様や我々スタッフ陣の応援にも胸に熱い思いが感じられます。4年目を迎え、他の方々にも見て頂きたいという気持ちが強くなり、見て頂いても恥ずかしくないレベルまで達したと自負しております。一度ご覧頂ければ、この熱い思いをお伝えできるのではないかと考えております。また、この感動をより多くの方にお伝えできればとも考えております。

現代テニススクールにおいての主役は金持ちの大人でもなく、プロを目指している子供でもなく、「普通の子供達」になります。子供達の習い事としてのテニスが、現代テニススクールを支えていると言っても過言ではありません。この愛知県から日本全国へテニスの素晴らしさ、「普通の子供達」が頑張っている姿を発信したく、是非一度取り上げて頂ければと思います。ご連絡お持ち申し上げます。